

環境モデル都市への申請

- 国は平成20年に続き、本年9月より環境モデル都市の公募を開始。
- 本市は、他の電源立地地域や同等人口規模の自治体のモデルとなるような低炭素都市を目指すべく、申請を行った。

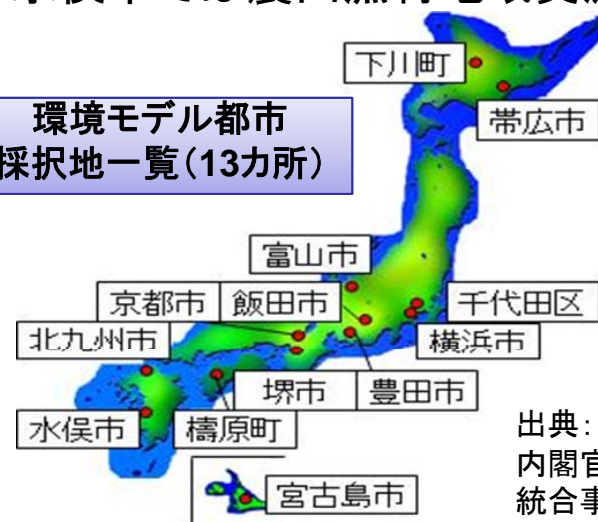
1. 環境モデル都市とは

- (1) 高い目標を掲げて先駆的な取り組みにチャレンジする都市。低炭素社会への変革を進める地域活性化プロジェクトで、平成20年に当時の福田内閣が実施。
- (2) 全国で13都市を選定。地方中核都市としては、飯田市(11万人)、帯広市(17万人) 富山市(42万人)、豊田市(42万人)が選定。また小規模市町村としては、宮古島市(5.5万人)や水俣市(2.9万人)も選定。
- (3) 取組内容に関し、本年度の各都市の主要事業として、飯田市では太陽光市民共同発電事業をモデルにした小水力市民共同発電、水俣市では農山漁村地域資源活用プロジェクトに取り組んでいる。

北九州市:電気自動車と急速充電スタンド



環境モデル都市
採択地一覧(13カ所)



出典:
内閣官房地域活性化
統合事務局サイト 1

2. 薩摩川内市環境モデル都市提案(イメージ)

- 市内を、1. ヤマ(山間部)、2. サト(農村部)、3. マチ(市街地)、4. ハマ(沿岸部)、5. シマ(島しょ部)に分類。それぞれの地域における課題解決に向けた、エネルギーの需給関連の取り組みを実施する。
- また、国のエネルギー政策も見つつ、電源立地地域の強みを活かした安価でかつ安定的な電力供給を行う環境の下、次世代エネルギー関連企業の誘致を進め、地域のエネルギー需給バランスの確保を目指しながら一層の温室効果ガス削減につなげていくことを目指す。
- 基準年は2009年。2030年の削減目標は同年比20%、2050年の削減目標は同年比50%を目指す。

